

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	急激な健康破綻における看護(急性期にある人の看護)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時間		教室名	
担 当 教 員	藤田 美穂	実務経験と その関連資格	関西医科大学附属病院、大阪大学医学部附属病院 計8年勤務			
《授業科目における学習内容》 急性期にある対象の身体的変化、対象やその家族の心理・社会的変化の理解を深めるとともに健康状態に応じた援助を学ぶ。また、手術に伴う身体侵襲とボディイメージの変化を理解し、手術後の機能障害・機能喪失に対する援助や手術後の継続的な自己管理に関する援助を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 終講試験(90%) 小テスト,授業態度,出席状況(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 毎回教員作成の講義資料配布 臨床外科看護総論,医学書院 副読本:周手術期看護2,竹内登美子編著,医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》 指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》 グループワーク、意見交換や学びの確認・共有時には活発に自分の思いを表現していくようにして下さい。授業に関するレポートを提出する場合は、提出期限・提出時間を守って下さい。遅れての提出は、受け付けません。授業での課題は点数化しますので守らなければ点数加算されないことを理解して下さい。また、成人看護学実習Ⅱに直結する内容であり、国家試験にも繋がる内容です。大切な内容なので、しっかりと自分の知識となるよう取り組んで下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)周手術期の学習内容がわかる 2)周手術期(急性期)とはどのような時期かがわかる 3)生体反応時の主要ホルモンの反応がわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第1章	
		各コマにおける授業予定	周手術期とは 手術侵襲と生体反応 手術を受ける患者の状況			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)手術を受ける患者の複雑な心理状態がわかる 2)を受ける患者の術前の流れがわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第7章	
		各コマにおける授業予定	手術前の看護(外来看護を含む) 術前検査、クリニカルパス、術前オリエンテーション			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)術前の看護でどのようなことをするのかわかる(なぜ、それをするのか根拠もわかる) 2)術後ベッド作成の根拠がわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第7章	
		各コマにおける授業予定	手術当日の看護 術後ベッド作成の根拠 麻酔の種類と看護			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)手術室のイメージが出来る 2)手術室看護師の役割がわかる 3)全身麻酔と局所麻酔の特徴と違いがわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第3章	
		各コマにおける授業予定	手術室の環境 手術中の看護 手術室看護師の役割			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)手術中の体位が及ぼす影響がわかる 2)手術中に起こりやすい合併症とその予防、看護についてがわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第8章	
		各コマにおける授業予定	術中起こりやすい合併症と術中管理の視点 手術体位の及ぼす影響			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)術後の生体反応がわかる 2)術後の回復過程(Mooreの回復過程)のポイントがわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第1章 の手術侵襲と生体反応 成人看護学総論第9章
		各コマにおける授業予定	Mooreの回復過程とサードスペース 術後起こりやすい合併症と看護①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)主な術後合併症の原因・成り行き・症状がわかる 2)1)がわかった上で、主な術後合併症の観察点や看護がわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第9章
		各コマにおける授業予定	術後起こりやすい合併症と看護②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1)創傷の治癒についてのポイントがわかる 2)術後ドレーンの目的とドレナージについてわかる	教科書 講義資料	教科書を読んで来ること 成人看護学総論第1章 の創傷治癒過程 成人看護学総論第9章 のドレーン管理
		各コマにおける授業予定	術後起こりやすい合併症と看護③ 創傷治癒過程とドレーン管理について		
第9回		授業を通じての到達目標	開頭術を受ける患者の術前・術後の看護を考えることができる (クモ膜下出血開頭術)	教科書 講義資料	脳神経の解剖生理、疾患の復習を行っておく
		各コマにおける授業予定	開頭術を受ける患者の看護について 治療前後の患者の身体的変化について		
第10回		授業を通じての到達目標	開胸術を受ける患者の術前・術後の看護を考えることができる (肺がん)	教科書 講義資料	呼吸器系の解剖生理、疾患の復習を行っておく
		各コマにおける授業予定	肺切除術を受ける患者の術前・術後の看護 治療前後の患者の身体的変化について		
第11回		授業を通じての到達目標	開腹術を受ける患者の術前・術後の看護を考えることができる。 (胃がん・直腸がんの病態、ストーマ造設前後の看護)	教科書 講義資料	消化器系の解剖生理、疾患の復習を行っておく
		各コマにおける授業予定	開腹術を受ける患者の術前・術後の看護 治療前後の患者の身体的変化について		
第12回		授業を通じての到達目標	乳がん手術を受ける患者の術前・術後の看護を考えることができる	教科書 講義資料	乳がんの病態の復習を行っておく
		各コマにおける授業予定	乳がん手術を受ける患者の術前・術後の看護 治療前後の患者の身体的変化について		
第13回		授業を通じての到達目標	頭頸部手術(咽頭がん)を受ける患者の術前・術後の看護を考えることができる。(気管切開を含む)	教科書 講義資料	咽頭がんの病態の復習を行っておく
		各コマにおける授業予定	咽頭がん手術を受ける患者の術前・術後の看護 治療前後の患者の身体的変化について		
第14回		授業を通じての到達目標	腹腔鏡下手術を受ける患者の術前・術後の看護を考えることができる	教科書 講義資料	臨床外科看護各論の腹腔鏡下手術を受ける患者の看護
		各コマにおける授業予定	術式の理解 術後合併症と患者の苦痛の理解 術前・術後の患者の理解と看護		
第15回		授業を通じての到達目標	救急看護とクリティカルケアについて考えることができる	教科書 講義資料	臨床外科看護総論p356～p380までを熟読し、予習をしておく
		各コマにおける授業予定	救急患者の状況、その家族の状況、観察の方法や看護		